

# 分析結果報告書〔3〕 1 / 2

## 1.3 廃棄物溶出液試料(砒素)

|                     |  |
|---------------------|--|
| 機関コード               |  |
| 機関名                 |  |
| 電話番号                |  |
| 国際的な認証等の取得(複数回答可)   | 1. ISO 9001~9003 2. ISO 14001 3. ISO/IEC 17025(ガイド25) 4. M L A P<br>5. 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格 |
| 分析主担当者名             |  |
| 分析主担当者の経験年数         | ( )年   |
| 分析主担当者の実績(年間の分析試料数) | ( )  |

| 回数  | 分析結果(mg/L) 注1) |                    |
|-----|----------------|--------------------|
|     | 検出下限値以上 注2)    | 検出下限値未満での検出下限値 注3) |
| 1回目 |                |                    |
| 2回目 |                |                    |
| 3回目 |                |                    |

注1) 一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注2) 検出下限値以上であった場合、分析結果を有効数字3桁で記入する。

注3) 検出下限値未満であった場合、検出下限値を有効数字1桁で記入する。

|        |     |
|--------|-----|
| 分析開始月日 | 月 日 |
| 分析終了月日 | 月 日 |

|       |  |
|-------|--|
| 分析方法  | 1. ジエチルジチオカルバミド酸銀吸光度法 2. 水素化物発生原子吸光法<br>3. 水素化物発生ICP発光分光分析法 4. ICP質量分析法<br>5. その他( ) |
| 使用した水 | 1. 蒸留水 2. イオン交換水 3. 超純水 4. その他( )  |

### < 前処理(試験溶液の調製) >

|                        |                                  |
|------------------------|----------------------------------|
| 試料量                    | ( )mL                            |
| 前処理 用いた酸の量 硝酸          | ( )mL                            |
| 硫酸(1+1)                | ( )mL                            |
| 注4) 過マンガン酸カリウム溶液(3g/L) | ( )mL                            |
| 過塩素酸                   | ( )mL                            |
| 塩酸                     | ( )mL                            |
| 過酸化水素                  | ( )mL                            |
| 方法(循環式の分解装置の使用)        | 1. 循環式の分解装置を使用しない 2. 循環式の分解装置を使用 |
| 前処理後の定容量(試験溶液量) 注5)    | ( )mL                            |

注4) 使用しなかった場合には、「0(ゼロ)」とする。

注5) 定容としなかった場合には、記入しない。

### < 水素化物発生法の予備還元等: 吸光度法、原子吸光法、ICP発光分光分析法等 >

|                     |   |
|---------------------|---|
| 試験溶液の分取量 注1)        | ( )ml   |
| 予備還元等に用いた試薬 よう化カリウム | 1. 使用する 2. 使用しない                                |
| (酸を除く) 塩化不(II)      | 1. 使用する 2. 使用しない                                |
| 鉄( )                | 1. 使用する 2. 使用しない                                |
| 臭化カリウム              | 1. 使用する 2. 使用しない                                |
| アスコルビン酸             | 1. 使用する 2. 使用しない                                |
| その他の試薬              | ( )   |
| 予備還元後の溶液(定容量) 注1)   | ( )mL   |
| 予備還元後の溶液の液性 塩酸濃度    | ( )mol/L  |
| (概略濃度) 硫酸濃度         | ( )mol/L  |
| 還元剤                 | 1. 還元剤(II)ほう酸ナトリウム(水素化ほう酸ナトリウム) 2. 亜鉛 3. その他( ) |

注1) 分取しなかった又は定容としなかった場合には、記入しない。

# 分析結果報告書〔3〕 2 / 2

< 吸光光度法 >

|      |   |
|------|---|
| 吸収液  | 1. ジェルゲルチン酸銀とブリンの硝酸溶液<br>2. ジェルゲルチン酸銀のピリン溶液<br>3. その他 ( ) |
| 測定波長 | ( )nm   |

< 水素化物発生原子吸光法及び水素化物発生ICP発光分光分析法 >

|             |   |
|-------------|---|
| 導入方法        | 1. 連続式 2. 貯圧式 3. その他( )                 |
| 原子吸光分析装置    | 1. 行わない 2. 重水素ラフ 3. 偏光ビーム 4. その他( )     |
| バックグラウンド補正  | ( )nm                                   |
| 測定波長        | ( )nm                                   |
| ICP発光分光分析装置 | 1. 波長走査(シークンシャル) 2. 波長固定(マルチ) 3. その他( ) |
| 装置の型式       | ( )                                     |
| バックグラウンド補正  | 1. 行う 2. 行わない                           |
| 超音波ネブライザの使用 | 1. 使用しない 2. 使用する                        |
| 測定時間        | ( )秒                                    |
| 測定波長        | ( )nm                                   |

< ICP質量分析法 >

|                |                           |
|----------------|---------------------------|
| 試験溶液の希釈        | 希釈倍率 ( ) 注1)              |
| スペクトル干渉の低減又は補正 | 1. 四重極 2. 二重収束 3. その他( )  |
| 質量分析計          | 1. 行わない 2. 行う             |
| コリジョン・リアクションセル | 1. 行わない 2. 行う             |
| 水素化物発生         | 1. 行わない 2. 行う(その方法の概要: )  |
| 補正式による補正       | 補正前の指示値( ) 補正後の指示値( ) 注2) |
| その他            | 1. 行わない 2. 行う( )          |
| 積分時間(質量数毎)     | ( )秒                      |
| 質量数            | ( )                       |

注1) 希釈しない場合には、希釈倍率を「1」とする。

注2) 指示値としては「イオンカウント値」等を記入する。

< 検量線の作成等 >

|                |  |
|----------------|--|
| 定量方法           | 1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法   |
| 方法             | 1. イットリウム(Y) 2. インジウム(In) 3. イットリウム(Yb) 4.  Tellurium(Tl) 5. ビスマス(Bi) 6. ベリリウム(Be) |
| 内標準法: 内標準物質の種類 | 7. ロジウム(Rh) 8. レニウム(Re) 9. その他( )  |
| 検量線            | ( )  |
| 作成点数           | 最小( ) ~ 最大( ) 注3)  |
| 作成範囲           | ( )  |
| 最高濃度の指示値       | ( )  |
| 試料の指示値         | 1回目( ) 注4)<br>2回目( )<br>3回目( )   |
| 空試験の指示値        | ( ) 注5)  |
| 検出下限値          | ( ) mg/L 注6)   |

注3) 分析装置で測定する溶液中の濃度 (mg/L) を示す。ただし、吸光光度法では量 (µg) を示す。

注4) 標準添加法では「添加のない試料」の値を示す。

注5) 標準添加法では記入しない。

注6) 試料中の濃度 (mg/L) を示す。

|                          |  |
|--------------------------|--|
| 分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点 |  |
|--------------------------|--|

|     |  |
|-----|--|
| 計算式 |  |
|-----|--|